

令和3年度 JEES・出光興産(生産技術)奨学金 募集・推薦要項

公益財団法人日本国際教育支援協会(以下「本協会」という。)では、出光興産株式会社(代表取締役社長 木藤俊一氏)のご支援により、「JEES・出光興産(生産技術)奨学金」(以下「本奨学金」という。)の奨学生を下記により募集する。

記

1 目的

本奨学金は、工学分野を学ぶ学生の経済的不安を緩和し、学業に専念できる環境を整えることで、将来、生産技術分野で活躍が期待される有望な人材の育成を目的とする。

2 奨学金の寄付者及び寄付の趣旨

本奨学金の寄付者である出光興産株式会社は、創業以来、石油燃料や石油化学製品を中心とする事業や、潤滑油、電子材料、機能化学品、アグリバイオ等高機能材事業で日本の産業を支えてこられた。本奨学金により、「ものづくり」を担い日本の競争力の源でありながら、今後ますます人材不足が懸念されるエンジニアの育成を願い資金を提供された。

3 応募資格

次の各号のすべてに該当する者。

- (1) 令和3年4月に本協会が指定する日本国内の大学(以下「大学」という。)の修士課程(博士前期課程及び一貫制博士課程も含む。)1年次に正規生として在籍する日本国籍を有する者又は日本への永住を許可されている者。
- (2) 流体・伝熱工学、粉体工学、流動シミュレーション等のプロセス技術分野あるいは、機械工学、電気電子工学、システム制御工学等の機電分野を専攻する者
- (3) 本奨学金の受給期間中、他の奨学金を受けない者。[貸与型(返済が必要なもの)奨学金、学費免除、国の高等教育修学支援新制度は除く。]
- (4) 修学目的が明確で、支援の効果が期待できる者。
- (5) 心身共に健康であり、かつ品行方正で学業成績が優秀な者。
- (6) 令和3年4月に在籍大学の長の推薦を受けることができる者。

4 採用人数

3名程度

5 支給内容

月額奨学金 80,000円

6 支給期間

令和3年4月から在籍課程の修了まで。

※ 一貫制博士課程在籍者については、1～2年次を修士課程とみなす。

7 応募・推薦方法

- (1) 本奨学金を受けようとする者(以下「応募者」という。)は、所定の様式による願書を、大学を通じて、本協会理事長(以下「理事長」という。)に提出するものとする。
- (2) 大学の長は、3に挙げる応募資格に該当する者について、8に挙げる応募・推薦書類を理事長に提出するものとする。なお、推薦人数等については、別途依頼文で示す。

8 応募・推薦書類

	提出物	提出方法	ファイル形式	備考
(1)	願書(様式 1)	メール	Excel	日本語で書かれたものに限る
(2)	推薦書(様式 2)	郵送	紙	文書番号の記載があれば、公印省略可
(3)	推薦理由書(様式 3)	メール	Excel	推薦理由は、指導教官等が記入すること
(4)	学業成績証明書	メール	PDF	日本語で書かれたものに限る

※ メールでの提出先は、ix-app@jees.or.jp とする。

9 応募・推薦書類の提出期限

メール、郵送ともに令和 3 年 5 月 26 日(水)本協会必着。なお、締切期日を過ぎた場合や提出書類に不備のある場合は、受理しない。また、提出書類は一切返却しない。

10 選考方法及び結果の通知

理事長は、7 の(2)により推薦された者について書類選考をおこない、書類選考通過者に対して面接(6 月下旬予定)を実施し、奨学生を決定する。結果は、令和 3 年 7 月中を目途に大学を通じて通知する。なお、採否に関する照会には応じない。

11 支給方法

本奨学金は、別に定める方法により、大学を通じて支給する。

12 奨学生の義務

- (1) 奨学生は、本奨学金支給期間中の学習・研究状況について、学業成績証明書と共に、年度末及び奨学金受給終了後、所定の様式により、大学を通じて本協会に提出すること。
- (2) 奨学生は、学籍に変更があった場合、所定の様式により大学を通じて遅滞なく届け出ること。
- (3) 奨学生は、住所・連絡先に変更があった場合、大学在籍中は所定の様式により大学を通じて、大学卒業後は任意の様式により直接本協会へ遅滞なく届け出ること。
- (4) 本奨学金を受給した者は、自身の進路について、本奨学金受給終了時に所定の様式により、大学を通じて本協会に報告すること。
- (5) 奨学生は本協会又は寄付者の要請に応じ、アンケート等への回答、及び交流会・インターンシップ等に参加すること。なお、インターンシップは令和 3 年 9 月上旬の 1 週間程度、交流会は令和 4 年 2 月頃を予定。

13 本奨学金給付の休止又は終了及び決定取消

- (1) 奨学生が大学を長期欠席(1か月以上)した場合は、本奨学金の支給を休止する。なお、休止事由が止んで、所定の様式により奨学金支給の再開を願い出たときは、6 に記載した奨学金の支給期間において奨学金の支給を再開することがある。但し、6 の支給期間は延長しない。
- (2) 奨学生が、次の①から④のいずれかに該当した場合には、本奨学金の支給を終了する。
 - ① 大学を卒業、退学、除籍、停学、休学または留年(相当すると認められる場合も含む)した場合。
 - ② 本奨学金奨学生の義務を怠った場合。
 - ③ 募集・推薦要項の定める事項に該当しなくなった場合。
 - ④ その他奨学生として相応しくないと判断された場合。
- (3) 寄付者からの寄付が滞った場合、事前通知のうえ、本奨学金の支給を休止又は終了する。
- (4) 応募・推薦書類の記載事項に虚偽のある場合は、本奨学金の支給決定を取り消す。

14 その他(注意事項等)

- (1) 奨学生は、原則として、本奨学金の返還義務を負わない。ただし、13 に挙げる事項に該当する場合すでに支給している奨学金の返還を求める場合がある。また、本奨学金寄付者への入社その他の付帯義務を負うものではない。
- (2) 本奨学金採用決定(本奨学金採用決定通知を大学が受領した時点)前に他の奨学金の受給が決定した場合、大学を通じて本協会に速やかにその旨通知すること。また、本奨学金奨学生として採用された場合、受給期間終了まで本奨学金を辞退し、他の奨学金を受給することはできない。

- (3) 受給開始から終了まで他の給付型奨学金に応募することはできない。(ただし、本奨学金の受給終了後に支給を開始する他の奨学金は除く。)
- (4) 所属大学の留学制度等を利用して海外に留学する場合、長期欠席または休学の扱いとならなければ、支給を継続する。
- (5) 過去、本奨学金を受給した者は再度応募することはできない。
- (6) 本協会の奨学金事業における標準就業年限は、原則学士課程 4 年、修士(博士前期)課程 2 年、博士後期課程 3 年とし、この期間を支給対象とする。長期履修学生についても、これに相当する期間を支給対象とする。ただし、医学部等この期間を超えて在学が必要な学部・研究科においては、大学の定める標準就業年限を支給対象とする。

15 個人情報の取扱い

(1) 個人情報の管理

本協会は、本奨学金に関連して取得した願書・報告書等に記載される全ての個人情報を本協会の個人情報保護方針に基づき、細心の注意のもと管理・利用・破棄する。また、15(2)①から③及び⑤の目的で寄付者に開示・提供する場合を除き、あらかじめ本人の同意を得ないで、個人情報を他の第三者へ開示・提供しない。

(2) 個人情報の利用目的

本協会は、本奨学金に関連して取得した個人情報を適切に管理し、下記以外の目的には利用しない。

- ① 本奨学金奨学生を選考するため。
- ② 本奨学金支給事務のため。
- ③ 本奨学金懇親会・インターンシップ・イベント・アンケート等を実施するため。
- ④ 本協会実施の国際教育支援プログラムの案内や参加の際の連絡手段のため。
- ⑤ 報告書、お礼状、近況報告等を事前に奨学生本人からの承諾を受けた上で、本協会及び奨学金寄付者のホームページ等において広報目的に利用するため。

16 応募・推薦書類の提出先・問い合わせ先

公益財団法人日本国際教育支援協会 学生支援部 国際教育課

〒105-0003東京都港区西新橋1-13-1 DLXビルディング12階

TEL:03-5454-5274

FAX:03-5454-5242

MAIL: ix-app@jees.or.jp (応募書類提出用)

MAIL: ix@jees.or.jp (問い合わせ用)

以上

令和3年度JEES・出光興産(生産技術)奨学金 願書

令和 年 月 日

公益財団法人 日本国際教育支援協会 理事長 殿

私は、本奨学金の募集・推薦要項の全記載内容に同意・了承の上、令和3年度JEES・出光興産(生産技術)奨学金の奨学生として採用願いたく、願書の記載事項に相違ありませんので、ここに申請いたします。また、募集・推薦要項15(2)①から③及び⑤の目的で、願書の記載事項を寄付者に開示・提供することに同意します。なお、奨学生として採用された場合は、本奨学金を辞退して他の奨学金を受給することはいしません。

記

氏名		写真 データを貼り付けること。 (詳細は【記入上の注意】を 参照のこと。)
カナ		
ローマ字		
漢字		
学籍状況(令和3年4月1日時点)		
学校名		学科・専攻
選択してください	年 (年 月入学、 年 月卒業予定)	
国籍・地域		
生年月日		性別
年 月 日 (令和3年4月1日時点で 歳)		

●応募者の経済状況(令和3年度見込み)

収入内訳(すべて平均月額を記入すること) ※本国の家庭の収入、日本国外にいる配偶者の収入など、 生計を一にする別居者の収入は含まない		支出内訳(すべて平均月額を記入すること)	
仕送り額	円	学費	円
生計を一にする同居者の収入	円	教材費	円
アルバイト収入、 RA・TAの給与等	円	住居費	円
特別研究員 研究奨励金	円	生活費	円
高等教育の修学支援新制度 給付型奨学金	円	その他 ()	円
その他 ()	円	小計	0円
その他 ()	円	授業料免除額	円
合計	0円	合計 ※小計-授業料免除額	0円
収入-支出			0円

●他の奨学金受給・申請状況 ※一時金も含む

貸与型 給付型	奨学金名	支給団体名	年額	受給期間	状況
			円	年 月 から 年 月 まで	
			円	年 月 から 年 月 まで	
			円	年 月 から 年 月 まで	
			円	年 月 から 年 月 まで	

●学歴・職歴(高等学校卒業以降)

学歴 職歴	学校名・勤務先及び所在地	専攻分野・職務内容・地位	在学・勤務期間
			年 月 まで
			年 月 から 年 月 まで
			年 月 から 年 月 まで
			年 月 から 年 月 まで
			年 月 から 年 月 まで

●JEES・出光興産(生産技術)奨学金に応募する理由

●学習・研究計画

概要・ テーマ	
具体的な内容	

●学業修了後、どのような進路を希望するか。また、将来どのような職業・仕事に就きたいと思うか。

--

●出光興産株式会社の事業について、あなたがどう理解し、どう考えているか自由に述べよ。

以上

【記入上の注意】

- ・添付する写真は、上半身、脱帽、最近6ヶ月以内に撮影したものとし、縦4cm・横3cm・50KB以下のものを貼り付けること。
- ・申請者本人が入力すること(手書き不可)。
- ・スペースが足りない場合は、行の追加・高さの調整をしてセル内におさめること(別紙を添付しないでください)。

令和3年度JEES・出光興産(生産技術)奨学金 推薦理由書

令和 年 月 日

下記の者を、令和3年度JEES・出光興産(生産技術)奨学金に推薦します。推薦理由は、以下の通りです。

● 推薦する学生

氏 名		
カナ		
ローマ字		
漢字 (ある場合)		
学籍状況(令和3年4月1日時点)		
学校名	学部・研究科	学科・専攻
選択してください	年 (年 月入学、	年 月卒業予定)

● 推薦理由

--

推薦者

所属先 (研究科/専攻)		職名		氏名	
-----------------	--	----	--	----	--

以上

家 庭 調 査 書													
申 請 者	所 属	学群 _____ 学類 _____ 年次 _____											
	学籍番号	_____			性別	男・女	現住所	〒 _____ 市 () _____					
	フリガナ	_____											
	氏 名	_____					家族住所	〒 _____ 市 () _____					
家 族 及 び 所 得	就 学 者 を 除 く 家 族	続柄	氏 名	年 齢	職 業	在職 期間	勤 務 先 名 称	給与所得の収入 金額 (税込)	給与所得以外の 所得金額				
		父				年		万円	万円				
		母					年		万円	万円			
		父または母 死亡・離別の場合 時期 (年 月) 理由 ()											
		主たる家計支持者無職等の場合 時期 (年 月) 理由 ()											
							年		万円	万円			
							年		万円	万円			
							年		万円	万円			
							年		万円	万円			
	別 居 者 に ○ 印	続柄	氏 名	年 齢	学 校 名	設置者別	学校種別		通学別	控 除 額			
本人				筑波大学	国立	/		※自 宅 自 宅 外	万円				
					※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)		※自 宅 自 宅 外	万円				
					※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)		※自 宅 自 宅 外	万円				
					※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)		※自 宅 自 宅 外	万円				
家 庭 の 特 殊 事 情	特別控除項目		控除有無		/						/		
	障害者がある世帯		※有・無		続柄 () 氏名 () 手帳番号 ()						万円		
	その他												
本 人 の 状 況	家庭からの給付		月額 (千円)				認 定						
	アルバイト		月額 (千円) 内容 ()				総収入金額		① 万円				
	奨学金	受給中	月額 (千円) 団体名 ()				必要経費		② 万円				
		申請中	月額 (千円) 団体名 ()				特別控除額		③ 万円				
	その他の収入		月額 (千円) 内容 ()				総所得金額		④=①-②-③ 万円				
学 業 成 績	評 価	高等学校	5	4	3	2	1	平 均 値	収入基準額	世帯人数 人			
		大学 (院)	A	-	B	C	-			⑤ 万円			
	修得単位数または科目数								家計充足率		⑥=④÷⑤×100		

- (注) 1. 太線の枠内を記入し、※印は○で囲むこと。
 2. 「給与所得の収入金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額を記入し、所得証明書、源泉徴収票(写)を添付すること。
 (父と母が給与所得者の場合は父と母両方添付すること。年金受給者の場合は年金振込通知書(写)。失業者は雇用保険受給資格者証(写)。
 3. 「給与所得以外の所得金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額から必要経費を控除した金額を記入し、確定申告書(写)等を添付すること。
 (父と母が確定申告をしている場合は父と母両方添付すること。)
 4. 「家庭の特殊事情」欄について、障害者のいる世帯については障害者手帳(写)、その他については証明するものを添付すること。
 5. 「学業成績」欄については、1年次生(編入学生を含む。)にあつては出身学校の成績を記入(科目数で平均値を算出)し、成績証明書を添付すること。2年次以上の者にあつては、前年度までの成績(修得単位数で平均値を算出)を記入し、成績証明書を添付すること。